

研究成果展開事業
START 大学・エコシステム推進型 大学推進型
2020年度採択
中間報告書

2022年10月31日

【総括責任者】

所属:神戸大学

役職:産官学連携本部 本部長

氏名: 河端 俊典

【プログラム代表者】

所属:神戸大学

役職:産官学連携本部 副本部長

氏名: 蔭山 広明

【主幹機関】神戸大学

【共同機関】大阪工業大学

機関名:	主幹機関名 神戸大学 共同機関名 大阪工業大学
総括責任者 (所属・役職・氏名)	神戸大学 産官学連携本部 本部長 河端 俊典
プログラム代表者 (所属・役職・氏名)	神戸大学 産官学連携本部 副本部長 蔭山 広明
共同機関責任者 (所属・役職・氏名)	大阪工業大学 知的財産学部・研究科 教授 研究支援・社会連携センター センター長 杉浦 淳
プログラム共同代表者 (所属・役職・氏名)	大阪工業大学 研究支援・社会連携センター 課長 江藤 邦隆
活動実施期間:	2020年 10月 1日～2022年 8月31日

I. 活動目的

本事業は、神戸大学・大阪工業大学に所属する研究者の技術シーズを基に起業活動支援を行い、技術シーズやビジネスモデルのブラッシュアップを行うと共に、「大学発新事業創出プログラム(START)」の申請やベンチャーキャピタル(VC)へ橋渡しを行うことを目的とする。

併せて、神戸大学・大阪工業大学が共同で、GAP ファンドプログラム、起業活動支援プログラムを構築し、ビジネスモデルのブラッシュアップを行うだけでなく、アントレプレナーシッププログラムの共同実施等によって「京阪神連携によるスタートアップ・エコシステム拠点形成」に貢献する。

また、支援期間終了後も持続可能な起業活動支援を実施可能にするための体制を構築する。

II. 活動の概要

- ① 起業活動支援プログラム：神戸大学は産学連携・技術移転機能を外部化した株式会社神戸大学イノベーションが研究者等への伴走支援を行い、大阪工業大学ではデザイン思考による起業支援ワークショップを開催し、ハンズオン支援人材も雇用し推進する。また両大学ともKSACのOJTによる起業支援育成プログラムに参加し、支援人材の育成も行っている。
- ② GAPファンドプログラム：啓発活動、学内公募、審査、ハンズオン支援、デモデイ等の一連のプロセスに関し、共同で取り組みを推進する。
- ③ 支援体制の整備：規則整備や起業活動支援ハブの構築と併せて、両大学の関西経済界との密接な連携関係を活かしたビジネスマッチングや資金獲得を推進する。

III. 活動内容と成果

1. 目指すベンチャーエコシステムの進捗・達成度

■目標:

本プログラムは内閣府が進める「世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成戦略」の「グローバル拠点都市」として選定された大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアムに資するものであり、京阪神連携によるシナジー効果に加え、グローバル拠点選定による効果も視野に、世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点を構築することを目指している。

神戸大学・大阪工業大学の特徴と機能を活かして両大学の有望な技術シーズを発掘して起業支援を実施し、KSAC(京阪神スタートアップアカデミア・コアリション)やKSII(関西イノベーションイニシアティブ)と連携しながら、京阪神地域におけるスタートアップ・エコシステム拠点の一翼を担う。

■活動の進捗:

- ①技術シーズの発掘:株式会社神戸大学イノベーションに集積されたスタートアップ創出に係るノウハウを活用し、両大学の有望な技術シーズの発掘を進めている。
- ②技術シーズの育成:「ハンズオン型起業支援プログラム」と「GAPファンドプログラム」により、技術シーズの育成を進めている。
- ③起業後のアクセラレーションとして、独自のVCファンドである「神戸大学ファンド」の組成を2022年度内に実施する予定である。
- ④2021、2022年度に採択された知財戦略アドバイザーにより、知財活用の講演会の実施、ビジネスプランの作成、評価委員の推薦等への協力を得ている。今後は、EXITに向けた資本政策、VCとの連携等のスキーム全体の運用に向けてのアドバイスを受ける予定である。

■達成度:

神戸大学－大阪工業大学 GAPファンドプログラムを実施し、スタートアップの創出が進んでいる。
2020年度、2021年度の採択件数に対する起業化率は約30%である。

2. 起業活動支援プログラムの運営

2-1 進捗・達成度

■起業支援プログラム:

－研究室訪問による有望な技術シーズの発掘

神戸大学では、株式会社神戸大学イノベーションの担当者が学部・研究科ごとに集中的に研究室訪問を実施している。

大阪工業大学では毎年5～7百万円規模のOIT-GAPファンドの助成を学内周知し、申請者全員に対して起業アドバイスを実施する事により、学内での起業意識向上の醸成と学内ベンチャーの発掘を実施している。

－発明評価(プレマーケティング)と知財戦略の策定

神戸大学では、全学教員から年間約40件の単独発明について発明届が提出される。発明届が提出されると、株式会社神戸大学イノベーションの担当者が発明ヒアリングを実施し、発明の評価を行う。

大阪工業大学ではOIT-GAPファンド申請者全員に対し、特許庁から派遣された知財戦略デザイナーによる訪問を実施し、ベンチャー設立目線での知財戦略の策定を進めている。

－KU-OIT教育プログラムの提供

- ①デザイン思考ワークショップ
- ②ビジネスプラン演習
- ③財務計画・資本政策
- ④起業のための知的財産

株式会社神戸大学イノベーションと研究支援・社会連携センター(大阪工業大学)のプロパー職員(講師)と教員による教育プログラムの運営と実施が進行中である。

■GAPファンドプログラム:

－神戸大学と大阪工業大学での GAPファンドプログラムの組成・運営(年10-12件を選定)。

－独自GAPファンド(本事業外で独自に神戸大学・大阪工業大学で実施しているGAPファンド)を継続・拡大させるため、さらに産官学連携活動を活性化し原資を増大させる。

2-2 研究開発課題の実績
・応募課題数、採択課題数

	応募数 (件)	一次審査通過数 (件)	二次審査通過数 (件)	採択数 (件)
2020年度	48	—	16	16
2021年度	28	28	6	6
2022年度	23	23	7	7

・知的財産権(出願数、登録数) 2020年度～2022年度の累計

出願件数：国内 4件、海外 0件、登録件数：国内 0件、海外 0件

3. 支援期間終了後の持続的な起業活動支援の実現に向けた取り組み

3-1 持続的に取り組むための仕組みと進捗

・環境 (GAP ファンド運用、起業活動支援プログラム、支援体制(人数、人材の確保・育成体制等)、規則整備等) の整備

①支援人材の確保

神戸大学においては、神戸大学(主にアントレプレナーシップ教育)・株式会社神戸大学イノベーション(主に技術シーズ発掘と育成)・株式会社神戸大学イノベーションプラットフォーム(主に起業後の資金供与および経営支援)それぞれで起業支援人材が確保されており、その連携と活用を行う。

大阪工業大学においては、URAが大学発ベンチャー起業支援人材として位置づけて、URAの専任化(1名)を既に行っており、支援期間終了後においても支援体制の継続可能性を確保している。

②経営者人材の確保

素晴らしい技術を所与として、次に必要となるのは「経営者人材の確保」(事業化に向けてのスキルセットを持つ人材)であり、ECP一関西の枠組みで連携する。

3-2 起業活動支援の実績

※本START事業の支援を受けたものに限る

①大学発ベンチャー設立数

			支援終了時の目標(社)	累計実績(社)
ベンチャー設立数	(研究成果ベンチャー)	累計	33	7
	(その他)	累計	7	0

②設立ベンチャー一覧

設立年	会社名	研究代表者	大学名
2020年	レラテック株式会社	大澤輝夫	神戸大学
2021年	株式会社日本消費者深層心理研究センター	伊藤俊樹	神戸大学
2021年	株式会社Mediest	西森誠	神戸大学
2022年	株式会社Function	安田昌平	神戸大学
2022年	DsD合同会社	舟橋健雄	神戸大学
2022年	アクコム株式会社	皆川健多朗	大阪工業大学

※現時点で公表可能な6社を掲載